

西村伊作設計の近代建築教会  
日本基督教団倉敷教会教会堂



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	にほんきりすときょうだんくらしききょうかいきょうかいどう
所在地	倉敷市鶴形
指定年月日	平成21年1月8日
解説	倉敷教会は、大原孫三郎らが役員となり、明治39年に設立された。大正12年建築の教会堂は、塔屋付3階建て、一部を木骨コンクリート造とするユニークな建物である。重厚な石貼の外壁と軽快な印象の尖塔アーチ窓を配する特徴的な外観をもつ。
アクセス方法	JR倉敷駅から徒歩約8分
公開状況	建物内(礼拝堂)見学自由。[入場]10~17時 [電話番号]086-422-0202
設備	<p>駐車場は周辺の有料駐車場を利用</p> <p>  トイレ            駐車場            障害者用トイレ         </p>
備考	併設してキリスト会館(喫茶)がありますので、お声かけくださいとのことです。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	日本基督教団倉敷教会教会堂
よみかた	にほんきりすときょうだんくらしききょうかい きょうかいどう
しょざいち (所在地)	倉敷市鶴形
していつひ (指定した日)	平成21年1月8日
せつめい	大正(たいしょう)12年に建(た)てられた教会(きょうかい)です。壁(かべ)には石が貼(は)り付けられて、その上にとんがり屋根(やね)にアーチ窓(まど)が付けられており、ユニークな建物(たてもの)です。